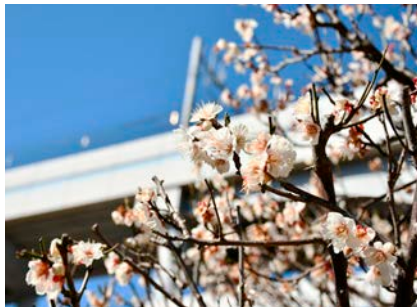


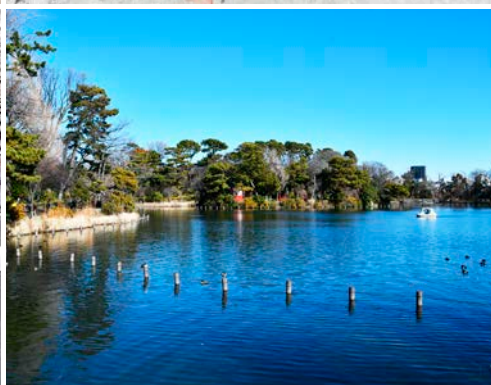
いきらのガイド

令和4年
10月発行

大田区
Ota City



大田区公式PRキャラクター
はねびん



大田区役所

☎ 5744-1111 (代表)

〒144-8621 大田区蒲田5-13-14

ホームページ <https://www.city.ota.tokyo.jp>

ホームページ

大田区

検索

- お近くの医療機関案内
東京都医療機関案内サービス
『ひまわり』 ☎ 5272-0303 [24時間]
聴覚障がい者用 ☎ 5285-8080 [24時間]
外国語による案内 ☎ 5285-8181
[午前9時～午後8時]
(英語・中国語・ハングル・タイ語・スペイン語)
- 救急車を呼んだほうがいいか迷ったら [24時間]
東京消防庁救急相談サービス
『救急相談センター』
#7119 または ☎3212-2323



大田区の情報をつぶやきます
大田区公式ツイッター
アカウント名: @city_ota



大田区ならではの魅力を発信
シティプロモーション ツイッター
アカウント名: @Unique_Ota



友だち登録
はこちら

大田区LINE公式アカウント

アカウント名: 大田区

ID: @otacity

配布場所等

毎年発行し、転入手続きをされた方、及びご希望の方にお渡ししています。各特別出張所または区役所1階戸籍住民窓口、2階区政情報コーナーにございますので窓口でお問い合わせください。

エリア別特集など

引越し
ガイド

もしもの
ときの
連絡先

相談
ガイド

施設
ガイド

戸籍、
住民票、
マイナンバー
など

マイ
ナンバー

国保、
年金

税金

保健、
衛生

福祉

子ども

暮らし

資源と
ごみ、
リサイクル

住まい、
まちなみ、
環境

防災、
防犯

産業、
仕事

学習、
文化、
余暇、観光

国際交流、
多文化共生、
言語、女性、人材

身近な
区政

区内施設
ダイヤル
ガイド

町名別
管轄区域
一覧

さくいん

大田区の紹介

大田区は、東京都の東南部に位置し、日本の空の玄関口である羽田空港を有する一方、臨海部や多摩川など、水辺や自然などにも恵まれております。高度な技術力を有する町工場、人のにぎわいあふれる商店街、馬込文士村等の歴史と文化のまちなど、多彩な魅力があるまちです。

区には18の地区があり、それぞれの特徴を生かしたまちづくりを進めております。そして、その原動力となっているのが、区民一人ひとりの力や自治会・町会、事業者・NPOなど、地域を構成する様々な主体が連携・協働することで生まれる「地域力」です。

これまで培ってきた大田区の「地域力」を結集し、防犯・防災、福祉、子育て、教育、産業、環境、まちづくり、感染症対策など、あらゆる分野において、きめ細やかでより質の高い行政サービスを提供してまいります。

この冊子は、大田区で生活する皆様の日常生活に関わりの深い区の事務をはじめ、国や都の事務、区民施設の利用案内や各種相談窓口などを掲載しております。この冊子をご活用いただき、皆様の生活にお役立ていただけますようお願いいたします。

令和4年10月 大田区長

区の紋章



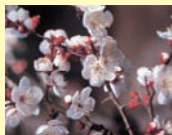
区民の皆さんから公募し、1429点の作品の中から本山芳夫氏の図案をやや修正したものを区の紋章として昭和27年に制定しました。

平和のシンボルマーク



大田区は昭和59年8月15日に平和都市宣言を行い、毎年その日に「花火の祭典」など記念行事を開催しています。(→128ページ参照)

区の木・クスノキ / 区の花・ウメ / 区の鳥・ウグイス



成長の早いクスノキは発展の象徴、早春に咲くウメは古くから大田区の地になじみがある花です。またウメの咲く早春を告げる鳥・ウグイスは自然保護のシンボルとして制定しました。

区歌



区民の皆さんから歌詞を公募し、山田耕祐氏の作曲で昭和29年に制定しました。

●区名の由来

大田区の前身である大森・蒲田の両区は、昭和7年10月に、当時の東京市が隣接する郡町村を合併した際に設置されました。馬込、東調布、池上、入新井、大森の5つの町が大森区に、矢口、蒲田、六郷、羽田の4つの町が蒲田区になりました。昭和22年3月15日に、当時の大森区と蒲田区が一緒になって誕生したのが大田区です。その際、両方の一字ずつを取って命名されました。

●歴史・沿革

海と川に臨み、武蔵野台地の先端に位置していることから、昔から人が住みやすく、交通の要路でもあったため、区内には大森貝塚、多摩川台古墳群、池上本門寺五重塔など多くの史跡が点在しています。また、水止舞や襦袢（ねぎ）の舞などの伝統芸能も数多く残されています。

江戸期は農漁村で、特に海岸の大森・糀谷・羽田地区では海苔（のり）の養殖が盛んに行われました（昭和38年まで存続）。また、東海道の街道筋にあたっていたため、人馬の往来でにぎわいました。

大正期以降、中小工場が進出し、低地部は住宅や工場が密集する商業・工業地域を形成し、京浜工業地帯の一部となっています。台地部は、関東大震災後に住宅化が進み、田園調布、雪谷、久が原など比較的緑の多い住宅地です。臨海部は埋め立て地から成っており、羽田空港をはじめトラックターミナルやコンテナふ頭、大田市場などの物流施設や、工場団地、野鳥公園など都市機能施設が整備されています。

●区の世帯・人口・面積（令和4年8月1日現在）

世帯数…401,706世帯

総人口…729,558人 日本人人口…705,394人(男…350,752人 女…354,642人)
外国人人口…24,164人(男…11,585人 女…12,579人)

面積…61.86km²

●大田区歌

- | | | |
|--|--|---|
| 1 明けわたる 新たな朝よ
田園の みどりも息吹く
あゝ こゝぞ あゝ こゝぞ
さやかなる 多摩の流れに
のせゆくは 自治の歌声
光あり 我らが大田
光あり 我らが大田 | 2 におい立たつ 火花と汗に
生産の 幸呼ぶところ
あゝ こゝぞ あゝ こゝぞ
のぞみある 日々をつちかい
すこやかに ひらく文化よ
力あり 我らが大田
力あり 我らが大田 | 3 青潮に かがやき映えて
天かける つばさの港
あゝ こゝぞ あゝ こゝぞ
いらか波 遠くつらなり
とこしえの 栄えめざして
誇りあり 我らが大田
誇りあり 我らが大田 |
|--|--|---|

令和4年10月発行 ■発行／大田区 〒144-8621 大田区蒲田5-13-14 TEL 03-5744-1111 (代表)

本紙に掲載されている情報は、原則令和4年10月1日現在のものです。その後内容に変更が生じる場合もあります。掲載内容が変更される場合には「大田区報」や区のホームページ (<https://www.city.ota.tokyo.jp/>) で随時最新の情報を発信しています。